



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

和牛の1つである日本短角和種「かつの牛」の新しい流通の
仕組みづくり

杉本 淳 (すぎもと じゅん)

株式会社暮人 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

大阪府高槻市

略歴

2008年 農林水産省 農林水産物・食品地域ブランド化支援 アドバイザー
2009年 ランドブレイン株式会社 経営顧問 兼 地方活性化推進役
2012年 特定非営利活動法人じゃばらむら 理事長
2012年 総務省緑の分権改革事業(平成26年度以降、総務省地域資源・事業化アドバイザー) アドバイザー
2013年 農林水産省農山漁村活性化支援人材バンク コーディネーター
2014年 株式会社暮人(くらびと) 代表取締役

著書・論文等

平成24年11月: 田舎の宝を掘り起こせ ～農村起業成功の10か条～ 【学芸出版社】

○ 和牛の1つである日本短角和種「かづの牛」の新しい流通の仕組みづくり

取組の内容

かづの牛は旧南部藩に伝わる南部牛をルーツにもち、肉用牛種ショートホーンと交配され、1957年に日本短角種として認定された日本固有の和牛です。夏の期間、鹿角市内の広大な放牧場で育ち、子牛は母牛の母乳で育つ愛情牛です。2000年代に入り、黒毛和牛ブームの陰で市場単価が落ち、生産農家が生活できない状況に陥っていました。問題は、牛肉として高値で取引される部位(ヒレ、ロイン、カルビ等)とその半分以下の価格でしか取引されない部位(モモ、カタ、バラ等)の開きでした。

そこで、部位毎の価格差を少なくし、牛肉を詳しく知らない消費者に「かづの牛は様々な部位を楽しめる、健康牛なので内臓も美味しい」を伝えるため、弊社が1頭丸ごと買い、それを年間1口10万円で消費者にお裾分けするオーナー制度を始めました。部位ごとの肉の発送、内臓の発送、開発した加工品の発送も行っており、着実にかづの牛のファンを広める活動は5年目を迎えています。

実績

かづの牛の出荷頭数:105頭(2012年)→147頭(2015年) ※2010年は92頭の出荷
かづの牛の枝肉単価:1,100円/kg(2012年)→1,600円/kg(2015年) ※2016年は1,800円/kgの予定
オーナー数:0口(2012年)→24口(2015年)
オーナー訪問者:0人(2012年)→延べ50人(2015年)

工夫した点や苦労した点

かづの牛の良さを伝えるとともに、かづの牛の背景(南部藩からの歴史や生産者の思いや志)や秋田県鹿角市の良さを丁寧に伝えました。オーナー等が鹿角市に来た時に生産者や他の果樹農家や事業者とのコミュニケーションの場を設け、かづの牛とともに鹿角市を好きになってもらう仕掛けを行いました。

ひとことPR

地域の思いや志を丁寧に伝えるには時間がかかります。しかし、高望みせず着実に活動を続けていけば、成果は必ずついてくると思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
○	6	観光振興・交流		

連絡先

メールアドレス	sugimoto[アットマーク]kurabito.co.jp	その他	
---------	--------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

[戻る](#)